

冬期間の災害に備えましょう

冬期間は雪崩や除雪中の事故、路面凍結による事故など様々な危険がありますが、とりわけ暴風雪は毎年多くの被害をもたらしています。

暴風雪による被害には、暴風による歩行困難、視界不良（ホワイต์アウト）による方向感覚の喪失、体温が奪われる事による低体温症等の人的被害や、ふぶきや吹きだまりによる交通障害、着雪による家屋の倒壊など様々な被害が予想されます。

① 暴風雪の際の気象情報

気象台から暴風雪警報などの各種警報が発表される他、暴風雪により広範囲に災害が予想されるときには「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」といったキーワードを用いて気象情報が発表されることがあります。

暴風雪災害は、晴れて穏やかな天気が急変したときに特に多く発生しています。暴風雪警報が発表されたときは、今の天気が良くても油断することなく最新の気象情報や道路情報などを事前に確認しましょう。

また、どうしても車で的外出が必要なときは車の立ち往生を想定して、防寒着や長靴、スコップ、けん引ロープなどを用意しておくとともに、十分な燃料があることを確認しましょう。



② 暴風雪被害を避けるために

被害を避けるためにも、下記の情報をチェックしておきましょう。

○気象庁（警報・注意報、天気予報など）
<<http://www.jma.go.jp/>>



○北海道地区道路情報（国道通行止情報など）
<<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>>



問 市・総務課危機対策係 ☎56-5005